



# 日立一高ラグビー部OB会 会報

<http://www.ichiko-rugby-obc.com>  
(フェイスブック「日立一高ラグビー部」も開設)

## ○ 日立一高ラグビー部OB会の会長が替わりました。

本年7月の学年幹事会において、平成22年度から8年間、OB会長を務められた尾又篤氏が退任され、後任に黒沢祐士氏が満場一致で選任されました。(詳しくは、2ページの「学年幹事会開催報告」をご覧ください。)

尾又前会長には、平成16年度に副会長に就任後、副会長6年、会長8年の計14年間に亘りOB会役員としてご活躍いただきました。長い間、本当にお疲れ様でした。

後任の黒沢会長は、進学のため春で引退する部員がほとんどだった昭和50年代初頭において、主将として3年間の活動を全うし、その後の日立一高隆盛期の礎を築きました。本OB会の活動はもとより、少年ラグビースクールや中学生の育成・指導など茨城県ラグビーの底辺拡大に尽力されてきました。

新任・退任に当たり、お二人からごあいさつをいただきました。

### 新会長あいさつ 第4代OB会長 黒沢 祐士 (昭和50年度 第28回卒)

さて私こと、先般開催されました平成30年度OB幹事会の決議により、尾又前会長の後任として第4代OB会会長に就任いたしました。

尾又前会長は、皆さんもご存知のように第3代監督を務め、全国大会出場の足がかりをつくり、これまで半世紀にわたり日立一高ラグビー部に深く関わり尽力されてきた方です。その後任は非常に重責であり、身が引き締まる思いです。

しかしながら、OB会の若返りや組織改革を図るためには微力ながらも精進し職責を果たす所存であります。前会長同様、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、この場をお借りして、重点的に取り組んで参りたい事を申し述べます。

まずは、OB会の若返りです。平成の年号も代わろうとしている今、新たな時代を迎え、積極的に若い世代の参画を促し、OB会に新しいパワーを取り入れたいと考えております。日立一高ラグビー部の現状を考えますと現役強化の面でも若い世代のOBの果たす役割は大きいと思っております。

また、その現役強化は最重要課題と思っております。男子生徒の減少等によりますます部員確保が難しくなっている現状からしても難しい課題ではありますが、尾又イズムの継承という面からも、現役との連携を強め、現役をより手厚くサポートする体制をとることで、現役強化を図りたいと考えております。

今まで培ってきた日立一高ラグビー部の歴史と伝統を継承し、茨城県高校ラグビーの草分けとして恥じないプライドをもったチーム作りとラグビーを通じた人間育成を支援していく所存です。これらはOB会員の皆様のご支援・ご協力なくしては達成が叶いません。

今後ともより一層のご支援・ご協力の程、重ねてお願い申し上げまして、私の就任のご挨拶とさせていただきます。



### 前会長あいさつ 第3代OB会長 尾又 篤 (昭和36年度 第14回卒)

平成22年7月、吉田尚一先輩の後任としてOB会長を拝命し、以来8年間に亘り日立一高ラグビー部とOB会の発展に、微力ながら取り組んでまいりました。

その間、OB諸氏、そして父母の皆様からは絶大な御支援と御協力をいただき、また橋本一多辺田一鈴木の3監督や、OBでもある照沼顧問との協力体制の下、附属中ラグビー部の創設や創部70周年記念事業の実施、さらには近年途絶えていた大学・社会人で活躍する選手の輩出など、数々の成果を残すことができました。これも偏に関係各位の熱意と、御支援・御協力の賜物と感じております。この場をお借りして心から感謝を申し上げます。



私事ではありますが、孫の悠介が日立一高附属中に入学し、附属中ラグビー部第二期生として関東大会に初出場、高校進学後は、親・子・孫の三代に亘るラグビー部員として楯円球を追い、正月（蹴り初め）のOB戦では、3人が揃って出場するなど、得難い体験もさせていただきました。

今日の日立一高を取り巻く状況を考えるとき、これまで以上に「文武両道」「学業との両立」が求められており、学校全体の生徒数も減少する中、ラグビー部の存続・発展を図っていくことは容易なことではないと思います。

しかし、苦しいときこそ、ラグビーで培われた精神力や仲間との絆を大切に、現役・OB一丸となって乗り越えていくことが大切です。今後とも、黒沢祐士新会長を盛り立て、日立一高ラグビー部が80周年・90周年に向けて益々発展していけるよう支援して参る所存ですので、引き続いての御指導・御支援をお願い申し上げ、退任に当たっての御挨拶とさせていただきます。8年間、本当にありがとうございました。

## ○ 平成30年度 学年幹事会 開催報告

前年度の決算・事業報告や本年度の予算・事業計画等を審議する、平成30年度の学年幹事会を7月14日（土）に開催し、役員・学年幹事のほか、来賓として鈴木監督が出席しました。（委任状提出者51人）

### 【議事について】

1. 「平成29年度事業報告及び決算」「平成30年度事業計画及び予算」については、原案どおり承認
2. 「役員の一部改選」については、平成22年度から8年間お務めいただいた「尾又篤会長」と「村山功副会長」のご勇退に伴い、後任の会長に「黒沢祐士副会長」を、副会長には「山本宏監事」と「柴田和則幹事」を満場一致で選任しました。

併せて、黒沢新会長から長年（副会長職は平成16年度から14年間）正副会長をお務めいただいた尾又さんと村山さんに「顧問」に就任していただけないかとの提案があり、お二人の意向を反映し、前々会長の吉田尚一さんと合わせて、お三方に「顧問」になっていただくこととしました。

### 【新役員】※太字は新任及び昇格（敬称略）

顧問：**吉田尚一**、**尾又篤**、**村山功**

会長：**黒沢祐士** 副会長：**山本宏**、益子俊志、**柴田和則** 幹事長：木下俊雄 幹事：照沼康彦、鶴巻仁、黒澤次郎、**笠井友洋**、**平澤慎二**、高橋晃太郎、本田浩二、尾又彰彦、鈴木祐輔、**加藤順大**

監事：**橋恒弘**、**長谷川将大** 事務局長：金澤勉

## 1. 平成28年度活動報告

### 1-1 主な支出の状況（実支出額）

（単位：千円）

	予算	決算	比較	内 容
1) 学年幹事会	40	55	+15	
2) OB会報発行	168	167	-1	10月1日付けで第20号を発行
3) 各大会への資金援助	180	220	+40	附属中関東大会出場補助を含む。
4) 菅平遠征への資金援助	50	50	0	例年同額
5) 菅平へのOB派遣補助	60	71	+11	附属中に帯同したOB分を含む。
6) ミニ合宿への資金援助	50	92	+42	会瀬秋合宿（グラウンド使用料含む。）
7) ゴルフコンペの開催	22	8	-14	通知発送
8) 蹴り初め等の交流親睦行事	80	97	+17	臨時役員会等を開催
9) 慶弔費	40	42	+2	朝日静夫氏、秋山氏御尊父の葬儀
10) 事務費	10	5	-5	コピー代、振込手数料等
11) DVD（PV）作成費用	200	0	-200	部員が自前で作成

12) 高校生活動支援	200	207	+7	炊飯器、部旗ケース、プログラム代等
13) 附属中活動支援	150	248	+98	用具入倉庫、新入生ジャージ等
14) その他	50	43	-7	父母会との交流、浜の宮G負担金
計	1,300	1,305	+5	概ね予算枠内

## 1-2 主な収入の状況（懇親会参加費、御芳志、預金利子等を除く。）

(単位：円)

	年会費（納入者）		広告料（納入者）		計
	金額	納入者	金額	納入者	
平成29年度予算	680,000	175人	220,000	12件	900,000
〃 決算	586,500	122人	238,000	15件	(92%) 824,500

## 2. 平成30年度 事業計画及び予算

## 2-1 事業計画

## (1) 現役部員の活動支援

週末や菅平合宿等における指導及び活動費・備品購入費等の補助を行う。

## (2) 部員拡大の支援

OB間のネットワークにより、関係者の子弟等の勧誘に努める。

## (3) 附属中ラグビー部の育成

貴重な部員の供給源として、また附属中生徒の心身の健やかな成長に資するため、引き続き物心両面からの支援により育成に努める。

## (4) OBチームの活動拡大

OB間の親睦を深めるとともに、2021年7月の栃木県佐野高校ラグビー部の創部70周年記念招待試合に向けて、機会を捉えてOBチームとしての活動を拡大する。

## 2-2 支出の部

(単位：千円)

	H29 決算	H30 予算	内 容
1) 学年幹事会	55	50	
2) OB会報発行	167	170	10月に第21号を発行予定
3) 各大会への資金援助	220	220	
4) 菅平遠征への資金援助	50	50	
5) 菅平への指導員派遣	71	60	
6) ミニ合宿への資金援助	92	50	秋2泊3日、春1泊2日
7) ゴルフコンペの開催	8	10	開催通知・賞品代補助
8) 蹴初め等の交流・親睦行事	97	90	OB戦、バーベキュー、新年会等
9) 慶弔費	42	40	
10) 事務費	5	10	コピー代・振込手数料等
11) 高校生活動支援	207	200	備品・ジャージ等購入
12) 附属中活動支援	248	200	〃
13) 予備費	43	50	
計	1,305	1,200	前年比 -105千円

## 2-3 収入の部（懇親会参加費、御芳志、預金利子等を除く。）

(単位：円)

	年会費（納入者）		広告料（納入者）		計
	金額	納入者	金額	納入者	
平成29年度予算	680,000	175人	220,000	12件	900,000
〃 決算	586,500	122人	238,000	15件	824,500
平成30年度予算	760,000	160人	240,000	15件	1,000,000 (前年比121%)

## ○平成30年度 菅平遠征合宿

平成30年8月2日（木）～6日（月）長野県上田市の菅平高原で遠征合宿を実施

OB会からも、3日（金）から尾又前会長、黒沢新会長、根本附属中監督、木下の計4人が参加、4日（土）～5日（日）は元JAPANの吉野さんが合流、5日（日）には父母会長兼OBの尾又彰彦一家も駆けつけました。（その他、期間中には日帰り等で保護者も激励のため多数ご参加いただきました。）

今年は菅平も猛暑となり、日中は30℃を超える暑さの中、昨年度と同様、磯原郷英高校との合同合宿

3年生は受験に備えて9人中3人のみの参加となり、怪我もいたことからお互いに人手を借りながら1・2年生主体のチームで、日々の試合で貴重な実践経験を積んでいきました。

なお、今回は、女子ラグビーの茨城県選抜チームが、サニアパークで開催された「オープンカップ（オープン化粧品がスポンサー）」に参加しており、2年の曾根も合流して出場し、トライも挙げるなど頑張っていました。

（8月2日（木）の午後と3日（金）の午前は練習のみ、試合は1ラウンド25分で行いました。）

8月3日（金） vs. 布施工科高（大阪）×0-35 vs. 各務原高（岐阜）△14-14

8月4日（土） vs. 小金・柏中央・市立船橋高（千葉）○59-5（前半21-5、後半38-0）

vs. 千葉経済大附属高 ×14-19（前半0-7、後半14-12）※後半は15分のみ

8月5日（日） vs. 湘南高（神奈川：名門進学校）×5-26（前半0-12、後半5-14）

vs. 千葉南高 ×7-26 ※1ラウンドのみ

8月6日（月） vs. 稲生高（三重）○36-22（前半22-0、後半14-22）



## ○昨年秋以降の現役部員の戦績

【平成29年度 第97回全国高校ラグビー大会茨城県予選】

※1・2年生のみの14人

一般生徒の応援を借りて、単独チームでエントリー

1回戦 日立一 48-0 牛久高校

2回戦 日立一 66-5 土浦工業

準々決勝 日立一 0-111 茗溪学園



【平成29年度 全国予選 vs 茗溪学園】

## 【平成30年度茨城県高校ラグビー新人大会】

※風邪で体調を崩した部員がおり、実質14人で試合に臨みました。

1回戦	日立一	113	-	0	太田一東洋大牛久
2回戦	日立一	58	-	14	下妻一高
準々決勝	日立一	14	-	15	清真学園
5位決定戦	日立一	57	-	14	合同A (勝田、水農、 海洋)

## 【第66回関東高校ラグビー大会 茨城県大会】

※初戦から怪我人が続出し、準々決勝にはベストメンバーで臨むことが叶わず... 実力は拮抗していただけに惜しまれました。

2回戦	日立一	42	-	14	勝田工業
準々決勝	日立一	15	-	24	清真学園
5位決定戦	日立一	49	-	10	合同B (勝田、水農、海洋)

## 【平成30年度第5回全国高等学校7人制ラグビー大会茨城県予選】

※この大会もベストメンバーが組めず、常総学院は破ったものの、3大会連続で清真学園に破れ、決勝進出は果たせませんでした。

《予選Fリーグ》	日立一	53	-	0	合同B (牛久、つくば 国際、並木中等)
	日立一	19	-	17	常総学院

《カップ(1位)トーナメント》

1回戦	日立一	21	-	14	勝田高校
準決勝	日立一	12	-	19	清真学園

※3位入賞



【平成30年度 新人戦 vs 清真学園】



【平成30年度 関東予選 vs 清真学園】



【平成30年度 7人制大会 表彰式】

## ○「蹴り初め」を開催しました

今年も2日後の1月5日(金)が新人戦の第1戦ということもあり、高校生×OBの試合は見送りましたが、中・高校生とOBチームによるタッチフット大会(中・高校生のチーム×3 & OBチーム×3)を開催し、その後に新人戦に向けた現役×OBのアタックディフェンスを行い、最後はこれも近年恒例の若手OB同士の試合で締めくくりました。

タッチフットでは、A・B2コートに分かれて予選リーグを実施し、1・2位決定戦、3・4位決定戦、5・6位決定戦を行い、決勝は中・高校生チームと若手OBの対戦となり、若手OBチームが優勝を飾りました。

今年も晴天に恵まれ、暖かい日差しの中ではありましたが、途中から強風に見舞われ、砂埃の中での蹴り初めとなりました。

現役(中学・高校)、OB、保護者、賛助会員など約130人の方々が集まり、試合終了後は恒例の「うどん入り豚汁」が振る舞われました。

学生~20代の参加が多かったのは嬉しい限りですが、世代交代なのか、以前は多数ご参加いただいていたOVE



R60のみなさんや、30代の中堅OBの数が少なかったのはやや寂しい感じでしたので、ぜひ来年はさらに多くのOBにご参加いただきたいと思います。

毎年のことながら、早朝からの豚汁作りに、多数の保護者の皆様にはお骨折りをいただき、本当にありがとうございました。

## ○ 滑川正昭先生の叙勲(瑞宝小綬章)受章を祝う会を開催

日立一高ラグビー部第3代監督である滑川正昭先生の「平成30年春の叙勲：瑞宝小綬章」受章をお祝いして、教え子有志とOB会の共催により、平成30年8月11日(土・山の日)に、ホテル天地閣で祝賀会を開催しました。

滑川先生には、昭和51年度から平成5年度まで、18年間の長きにわたり日立一高ラグビー部をご指導いただきましたが、その後も茨城県教育庁や茨城県体育協会等において要職を歴任され、それら茨城県教育界への多大なるご貢献とご功績により、今般、天皇陛下から叙勲を賜ったものです。

当日は、教え子や新旧OB会役員など約100人が出席し、先生の温かくも厳しかった(〃)ご指導などにまつわる、思い出話に花を咲かせていました。



## ○ 第14回OB会長杯ゴルフコンペの開催について

日立一高ラグビー部OB会の第14回ゴルフコンペを下記のとおり開催しますので、奮ってご参加ください。(今年は、まだ企画段階ですので、今後微修正があるかもしれません。)

1. 日 時 12月8日(土) 午前8時30集合(午前9時スタート)
2. 場 所 勿来カントリークラブ
3. 費 用 11,000円(昼食代、プレイ後のパーティ費・賞品代含む)

パーティー会場は村山功氏宅。村山功氏自らが手打ちした蕎麦や多数の美味しい手料理を囲んだ楽しいパーティーを予定しています。併せて、ぜひご参加ください。

【ゴルフコンペ幹事：笠井 知洋、TEL：080-5057-3065】



## ○ OB通信

このコーナーでは、OBの方々に昔の思い出話や近況等のご紹介をいただいています。今回は、助川覚さん・加藤順大さんをお願いしていましたが、8月11日(土)に開催した「滑川先生の叙勲受章祝賀会」を経て、小林明さんからも寄稿がありましたので、3人一気に掲載することになりました。皆さん、お忙しい中をありがとうございました。

### 「不惑の年になって」 平成8年度・第49回卒 加藤 順大

日立一高ラグビー部「創部70周年記念事業」から早いもので既に2年が経ちました。各世代のOBが集結し、記念試合・祝典も大いに盛り上がり最高の時間を過ごすことが出来ました。



思い返すと、私が日立一高に在学中には「創部50周年式典」が実施されました。残念な事に当時のことは正直よく覚えていないのですが、そう言えば、試合したかな……？私の記憶力の乏しさはさておき、それから20年以上経つ今でも日立一高ラグビー部に関わりを持っていることに喜びを感じています。

最近ではOVER 35のオジサン達で構成されたOBチームで茗溪学園・清真学園の定期交流戦に招待されることもあり、一層OB間での交流が多くなったように感じています。私を含めフラフラになりながら走るOB多数ですが、それでも歓声が沸くような好プレーあり、珍プレーも勿論ありで短い時間ではありますが、試合の「楽しさ」を感じる事が出来ました。

「楽しさ」と言うと、現役の学生の頃感じていたものと、引退した今感じるものでは少し異なるような気もしますが、ラグビーをする「楽しさ」、これをラグビースクールに通う息子の世代に教えてあげる。一緒に身体を動かす。これらが今年、40歳を迎えた私の楽しみとなっています。

大人になったら一緒にやろう！と、ゴルフの様にはなかなかいきませんが、可能な限り親子でラグビーを楽しんでいけたら最高だと思っています。

### 「時代の変化」 平成5年度・第46卒 助川 覚

高校を卒業して以来、日立を離れ25年東京で過ごしてきましたが、実家の介護事業を継ぐことになり、今年の6月末で17年間務めた会社を退職し、日立に戻ってきました。といひながらも、家と家族は東京のままで私が月曜日から金曜日まで日立で働き、週末は東京に帰るといった生活です。

久しぶりに日立の街をまじまじと感じてみると、街がだいぶ変わったと感じました。自分の体形(58kg→80kg、SHだったとは誰にも信じてもらえず…)ほどではないですが、日立一中ができていたり、日立駅がきれいになっていたり、女子高が明秀日立にかわっていたり、伊勢甚がなくなっていたり、ブリアンも ばばあの店もなくなっていたり、山側道路だったり海側道路ができていたり、そして高齢化が進んでいたりと薄々は気づいていたものの25年の時代の変化を感じました。しかし現役時代連日通った中華料理「眠眠」は健在で、ママのヘアースタイルも変わりなく、「カニ焼きそば」を食べたときには、思わずほっこりしました。

私は、この15年くらいラグビーとは全く縁がなかったのですが、やはりW杯の南アフリカ戦で久しぶりに熱くなり、小学1年だった息子をラグビースクールに入れ、自分もコーチとして参加しました。

ラグビーのルールも変わっていて、スクラムのオフサイドラインは5m(子供は3m)下がるルール変更すら知りませんでした。指導方針も当然、滑川先生から厳しくたたきこまれたものとは違い、指導の基本は「楽しく」です。練習中に大声で指示をすると「鬼コーチ」と言われてしまいます。「鬼コーチ」とは、滑川先生のような存在を指すものだと思っておりましたが、時代は変わったのだと感じるとともに物足りなさもあります。

8月11日の滑川先生の叙勲受章の祝賀会では、久しぶりにOBの先輩方、後輩に会い昔話に花を咲かせました。多世代にわたる仲間がいるっていうのは良いなど感じるるとともに、高校時代の厳しい練習に耐え、夢中でラグビーへのめり込み、過ごしたことが人生の宝であり基礎となったのだと思い、日立一校でラグビーに出会えたことに感謝しました。これからも微力ではありますが、少しでも恩返しができるよう頑張っていきたいと思います。



## 「時代の変化」 昭和56年度・第34卒 小林 明

「いや～！今日の隆則さんはカッコよがった！」大阪の宿舎の1年生部屋に戻るなり、小島がそう叫んだ。

それは2度目の全国大会花園出場を果たし、1回戦を目前に控えた大阪での練習中のことだった。突如、滑川先生の怒鳴り声が響き渡った。

「としひろ！」ハーフの鈴木俊広さんの元へ歩み寄る滑川先生。一瞬にして部員全員に緊張が走る。「てんめえ～！」の声の後すぐに×○が飛ぶ。一発、二発...。「そんなプレーしかできねえんか！」もう一発、更にもう一度先生の○が□□った時だ。

「おう、もういいんじゃないが！」ロックの鈴木隆則さんの声が先生の○を止めた。

当時1年生だった自分達は、その日の隆則さんがエラくかっこよく見えた。何かと言えばすぐ○や△が出る滑川先生への愚痴も多かった。そう、恐れず止めに入った隆則さんはヒーローだったのだ。

でも、最近ふと思うことがある。当時の3年生は個性的と言うか、クセがスゴいと言うか、そんな先輩達だった。(もちろん今では各方面で立派にご活躍されている先輩ばかりだが)

練習中に脚が痛くて休んでいると吉沢さんに「あ？脚がいでえだ？走れば治るよ！」と言われ、木下さんには首が痛いと言うと「あ、それはスクラム組めば治るやつだ。」と言われ、休むことはままならず、最終ラインを突破されたフルバックの小澤さんは怒りのタックルで1年のバックスだった西野宮を失神させ救急車で病院送りにするし、練習外では買ったばかりの体育館シューズが無くなったその日の練習で深谷さんがそれを履いてランパスしてたり、佐藤好美さんはアイスの棒に赤エンピツで「当たり、もう1本」と書いたの渡して取り替えてきてくれと言ってくるし、木下さんに牛乳をお使いに頼まれ買って行くと「俺が明治狙ってんのに森永牛乳買ってくるんだ」と怒られたりした。

ある日の練習前、授業が自習になったので用事をたそうと外を歩いていると1台のバイクが自分の横を走り抜けたのだが、すぐさまUターンして戻ってくると歩道に乗り上げ目の前で止まった。(うわー、変なのに絡まれたなあ～)と思ったのだが、ヘルメットを脱いだらそれはたかのりさんだった。「おめえ、早く練習いげ」「はい...」練習で忙しい中、いつ免許とったのか疑問だった。

今にして想えば、ラグビー部の面々というのはいつの時代も一筋縄ではいかない部員が多かったのではないだろうか？そんな部員を一人で相手にする滑川先生のことを考えれば、多少怒鳴ったり○が出たり△が出たりするのは、いたしかたなかったんだと思える。

話は戻るが、自分も卒業して数年後、大阪の事を思い切って滑川先生に聞いてみると、1回戦の相手が優勝候補の大阪代表の大工大高ということもあってか、今一つ気合いの入らない3年生に、イラついていたとのことだった。やられた俊広さんは、3年の代表でやられたのだ。いつの年代も、そういう部員は必需品なのだ。

で、現在である。滑川先生、鈴木俊広さん、小澤さんたちと、ちよくちよく一緒にゴルフをさせて貰っている。俊広さんいわく、「小林君よお、俺らは昔散々滑川先生に絞られたんだから、今度はこっちの番ぞ！」とハッパをかけられる。

しかしながら、残念なことにしょっちゅう振り返りにあっては、今度は散々小遣いを絞り取られる目にあっている。

でも、そうやって卒業して何十年も経つのに楽しくやれるのを、自分はとても嬉しく思っている。

(編集者注：執筆者ご本人の了解を得て、今日のスポーツ界においては過激と思われる語句や表現を「○×△□」に置き換えさせていただきました。!(^o^)!)



## ○ 父母の会だより 父母の会会長 尾又 彰彦 (尾又 悠介君(3年)の父 兼OB)

父母の会会長を務めさせて頂いております尾又です。

日頃より、先生方をはじめ、日立一高ラグビー部のOB会の皆様方には、深く感謝しております。まさか、私がこのような立場で筆を執るとは思ってもみませんでした。今回は、親目線で綴ってみたいと思います。

附属中にラグビー部が出来て7年が経ち、現在の高3生が第1号として、20数年振りの関東大会出場を賭けて茨城県予選に挑みました。結果は、準々決勝で宿敵清真学園に後半逆転され5位。夢破れてしまいました。

続く、7人制茨城県大会では、3位入賞。しかし、ここでも清真学園に準決勝で敗れてしまいました。確実にチーム力は向上しています。



【尾又家三代 晋平にて】

毎年ですが、ここからが大変です。進学校である日立一高ラグビー部の最大の問題点。もちろん、正解もありませんし、答えもありません。

特に、今の高3生は、ほとんど中1の頃から見てきた子供たちです。みんな、可愛い子供たちです。そして、ラグビーが大好きです。そんな子供たちが、日々葛藤している姿を見るとつらいです。

しかし、この葛藤こそが、将来、大きな財産になるのではないかと思います。後悔のないよう、それぞれの目標に向かって、やりきって欲しいです。

最後になりますが、部員みんなが仲の良い、この日立一高ラグビー部が益々発展するよう、先生方・OB会の皆様、今後ともご支援宜しくお願い申し上げます。

## ○ 全国大会県予選の組み合わせが決定しました。

平成30年度全国大会県予選の組み合わせが下記のとおり決まりました。(※今大会は第5シードです。)  
詳しくは、OB会ホームページ、又はフェイスブックをご覧ください。

第1戦(2回戦)	10月21日(日) 13:00	堀原運動公園競技場	v s	合同Aと合同Cの勝者
第2戦(準々決勝)	10月28日(日) 11:45	〃	v s	清真学園
第3戦(準決勝)	11月6日(火) 11:00	〃		
第4戦(決勝)	11月18日(日) 13:00	ケーズデンキスタジアム水戸		

今回も、日立一高の単独チームでエントリーすることができました。

順当にいけば、新人戦から数えて“4回目”の清真学園との対決になりそうです。

1月の新人戦では14-15、5月の関東大会予選では15-24、6月の7人制大会では12-19と、いずれも僅差で敗れています。

現役の皆さん、4度目の正直！そして頂点を目指して、頑張ってください！！

そして、OB・父母の皆さんの声援が、部員への大きな励ましになります。どうか、一人でも多くグラウンドにおいていただき、激励して下さるようお願いいたします。(組合せ等の詳細は、OB会ホームページ等をご覧ください。)

## ○ 「誌上広告」について

OB会の財政安定化をはかるため、今年度もOB会員等が経営する会社等の広告を掲載しています。(次頁をご参照ください。)

広告料は、年1回発行の会報掲載で1口1万円以上ですが、今年度は14人のOBとOB会役員・父母の会の皆様から、合計266,000円のご協力をいただくことができました。

ご協力をいただいた皆様には、この誌上をお借りして厚くお礼申し上げます。

OB・父母の皆様には、何かの折にはぜひ広告掲載店・企業にご用命ください。

\*日立一高ラグビー部OB会報 第21号\* (平成30年10月1日発行)

発行責任者：幹事長 木下 俊雄 (昭和54年度 第32回卒)

問合せ先：〒317-0065 日立市助川町3-7-4 木下俊雄 【電話】090-7846-8078

## 石井米店

店主 石井 博美

(昭和41年度 第19回卒)

〒318-0021 高萩市安良川270番地

電話：0293-22-3157

## 株式会社岡部工務店

代表取締役 岡部 英明

(昭和51年度 第29回卒)

〒316-0003 日立市多賀町2丁目10番7号

電話：0294-36-1681

## 株式会社オンサイド

代表 中小企業診断士 松崎 暢之

(昭和63年度 第41回卒)

〒153-0044 東京都目黒区大橋1丁目5番1-2001号

電話：03-6277-5309

## 株式会社 カントウスプレー

代表取締役 本田 浩一

(平成2年度 第43回卒)

〒317-0054 日立市本宮町3丁目32番12号

電話：0294-22-0807

## 鈴菊商店

代表 鈴木 真治

(平成2年度 第43回卒)

〒319-1701 北茨城市平潟町293番地

電話：0293-46-5110

## 有限会社 ナニワ運動具店

橋 恒弘

(昭和62年度 第40回卒)

〒317-0071 日立市鹿島町2丁目15番4号

電話：0294-22-0017

## 弁護士法人 萩原総合法律事務所

代表社員弁護士 萩原 慎二

(平成4年度 第45回卒)

〒308-0041 筑西市乙 828 番地の3

SATOHビル2階

電話：0296-48-8875

## 日立一高ラグビー部OB会 役員会

会長 黒沢 祐士 ほか

(昭和50年度 第28回卒)

## 茨城クリーン有限会社

代表取締役 夏井 一郎

(昭和37年度 第15回卒)

〒310-0804 水戸市白梅3丁目10番5号

電話：029-231-7741

## 尾又運送株式会社

代表取締役社長 尾又 彰彦 (平成2年度卒)

代表取締役会長 尾又 篤 (昭和36年度卒)

〒316-0035 日立市園分町3丁目11番7号

電話：0294-36-2856

## 有限会社 川西砕石

代表取締役 杉浦 巖夫

(平成7年度 第48回卒)

〒316-0001 日立市諏訪町1275番地の2

電話：0294-33-0359

## 秋光電気工事株式会社

代表取締役 秋山 啓市

(昭和49年度 第27回卒)

〒316-0003 日立市多賀町1丁目20番22号

電話：0294-36-1987

## 株式会社トップペイサービス

代表取締役 後藤 秀次郎

(昭和41年度 第19回卒)

〒272-0144 千葉県市川市新井3丁目15番28号

電話：047-396-7176

## 肉の登利要 日立店

店主 古口 利博

(昭和39年度 第17回卒)

〒317-0073 日立市幸町2丁目8番14号

電話：0294-21-0971

## 村山商店

代表 村山 功

(昭和42年度 第20回卒)

〒319-1702 北茨城市大津町2731番地1

電話：0293-46-0172

## 日立一高ラグビー部 父母の会

会長 尾又 彰彦

(ほか 保護者一同)

私たちは、日立一高ラグビー部を応援しています！

(事業所名はアイウエオ順)